

空手道人生 一冊に

岸さん(新庄)の普及活動、苦勞話つづる

新庄市北町に空手道場を構える岸信行さん(60)の体験をまとめた本「空手仙人 岸信行 枕にキノコが生えるまで泣け!! 不敗の人生術」が出版された。空手を愛し真摯(しんし)に取り組む姿勢、台湾やニューヨークでの普及活動の苦勞話などがつづられている。岸さんは「自分の体験が本になるのは恥ずかしいと思ってきたが、誰かの人生のヒントになればエ話している。」

■悩みは成長の機会 ■求めるものあきらめず

「何かヒントになれば」

著者は、空手を通して岸さん(45)大阪府在住。岸さんの知人でライターの不動武(ふどうたけ)の生き方、空手に対する心意気に感銘とめた。

し、1年ほど前に岸さんの本を出すこと

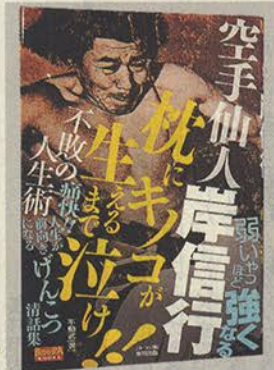
岸さんは新庄市生まれ、小学生の時に偶然見た空手にあこがれていた。農家の長男だったため家に残らなければならぬと思っていたが「空手を身につけたい」と19歳の時に家出同然で故大山倍達さんの極真会館に入門した。その後、めぐみさんと上達。内弟子となり台湾で指導、25歳でニューヨークに渡り、

道場を構えた。本は四六判、304頁。教育、空手、修行、精神、自然や湯飲みを割る様子や指導風景が写真で紹介されている。アメリカでは人種差別、貧困を目の当たりにした。マフィアを相手に生死を懸けた闘いをしたことも。ニューヨークの道場生とは空手を通して

「空手の専門家だけでなく、ほかの仕事の人にも読んでもらいたい。何かの役に立てほしい」と岸さん。どこにいても故郷は自分の支えになったと振り返り「親と故郷は自分の芯(しん)になるもので、ずっと誇りに思っている。空手を通して人を助けるための強さを身につけた。自分の個性を自覚し、持っている良さを極めるといい。心を磨くことが大事だ」と語っている。定価1890円で東邦出版から市販されている。



「空手に人を助けるための強さを教えてもらった」と語る岸信行さん
＝新庄市・岸空手道場



岸さんの空手に対する考え方や体験をまとめた本

岸さんの空手に対する考え方や体験をまとめた本

岸さんの空手に対する考え方や体験をまとめた本